

第四十六回帝國議會
衆議院

陪審法案

行政裁判法中改正法律案
訴訟法中改正法律案
司法官試補及辯護士ノ資格ニ關スル法律案
岐阜地方及區裁判所移轉改築ニ關スル建議案

委員會會議錄(速記)第十二回

會議

大正十二年三月八日午前十一時四十五分開議

出席委員左ノ如シ

理事 黑住 成章君

理事

橫山勝太郎君

宮崎三之助君

齋藤鷲太郎君

水野吉太郎君

清水市太郎君

麓 純義君

熊谷 直太君

萩 亮君

作間 耕逸君

砂田 重政君

出席政府委員左ノ如シ

法制局長官

馬場 鏑一君

法制局參事官

黑崎 定三君

委員長ノ許可ヲ得テ出席シタル者左ノ如シ

司法次官

山内確三郎君

宮古啓三郎君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

行政裁判法中改正法律案(宮古啓三郎君外十五名提出)

訴訟法中改正法律案(宮古啓三郎君外十五名提出)

司法官試補及辯護士ノ資格ニ關スル法律案(熊谷直太君外四名提出)

○橫山(勝)委員長代理

○熊谷委員 本案ノ提出者ト致シマシテ、最も簡單ニ其理由ヲ申上ケテ置イタ方ガ便宜デアラウト考ヘルノデアリマス、本案ハ最も簡單ナル案デアリマシテ、一種ノ經過法ニ過

ズヌノデアリマス、即チ第一項ノ方ハ是マデ各私立學校ニ於テ試驗ヲ受ケタル者ニ對シテハ、向フ五箇年ノ間、是マデト

同様に試驗ヲ以テスレバ、辯護士法ノ第二條第二項ノ規定ニ拘ラズ、辯護士タルコトヲ得ルト云フ法案デアリマス、

是ハ詳細シク申上ゲルマデモナク、皆御承知ノ通りニ新ニ出

來マシタル所ノ法制ニ依テ見マスト、三月一日ヨリハ新シ

イ所ノ規定ニ依テ、司法官試補及辯護士ノ資格ヲ得ルコ

トニナラネバナラヌノデアリマス、所デ是マデ單ニ法律學校ニ

於テ法律學ヲ修メタル人ニ對シテハ、其法制ト云フモノハ洵

ニ適用スルコトガ困難ナ所ノ法制デアアル、是ハ一種ノ救済

法ヲ以テ救済スルニ非ズンバ、依テ以テ是等ノ人ヲ救フコト

大學法學部法律學科卒業シタル者ハ、試驗ヲ了ヘテ三

月ノ二十五日ニハ出ルノデアアル、然ルニ前申上ゲタ通り

司法官試補ニ關スル官制ニ依テ見ルト、是ハ三月一日カ

ラ施行セラレマスカラ、二十五日ノ間ノ爲ニ、今回ノ卒業

生ト云フモノハ其資格ヲ奪ハレルコトニナル、是ハ人情ノ上

カラ見テモ洵ニ可哀想デアアル、此見地カラ見マシテ第二項ノ

案ヲ提出致シマシテ、本年ノ四月中ニ卒業スル所ノ卒業生

ダケヲ救済シテヤリタイト云フ精神カラ、本案ヲ提出シタノ

デアリマス、尙ホ御質問ニ應ジテ申上ゲマス

○橫山委員、色々承リタイ事モアリマスガ、第一ニ承リタ

イト思フノハ、本案ノ第一條ニ、五年以内ニ發令スル勅令

ニ依テ特殊ノ試驗ヲ行フ意味ニ文章ハ見エテ居リマスガ、

詰リ質問ノ趣旨ハ、高等試驗令ニ依ル試驗ト、高等試驗令

ニ依ラザル特殊ノ勅令ニ基ク試驗ト、二ツ行ハシムルト云フ

意味ノ提案デアリマスガ、ドウカソレヲ伺ヒタイ

○熊谷委員 橫山君ノ御問ニ御答シマス、後段ニ橫山君

ノ述ベラレタ通り、二ツノ試驗ニナルノデアリマス

○橫山委員 サウスルト政府當局ニ承リタイノデス、此點

ニ關シテ請願委員會ノ方デ御聲明ガアツヤウニ承テ居リ

マスガ、私直接ニ聞イテ居リマセヌカラ更ニ不審ヲ質シテ置キ

マス、今提案者ノ御説明ノ通りニ致シマス、試驗ノ方法

受驗者ノ實質ニ關シテ多少ノ差異ガアルト云フコトハ止ム

ヲ得ナイ、即チ學問ノ程度ニ於テ多少ノ差異ガアルト云フコト

ハ、是ハ當然デアラウト思フノデアリマス、其者ニ實質ノ同

ナル問題ヲ課スルト云フコトニナルト、ソコニ多少ノ不公平ナ

事柄ガアリハセヌカト考ヘル、隨テ此採點ノ上ニ於テモ多少

ノ斟酌ヲ加ヘルト云フヤウナコトハ、御考ニナシテ居リマスル

カ、之ヲ承リタイ

○馬場政府委員 採點其他ニ付テ斟酌ヲ加ヘルコトハ、

恐ラクシナイ積リデアリマシテ又私ノ考デアハ、何等不公平ノ

事ヲ生ジマイト思ヒマス

○橫山委員 ソレカラ提出者ニモ承リタイノデスガ、此新

大學令ニ依ル私學ノ卒業生ニ對シテ、是等ノ規則ニ依テ

救済セントスルト同様ナル方法ヲ認メナイト云フコトナラ

バ、新大學令ニ依ル卒業生ニ對シテ、多少酷ニ失スルヤノ憾

ガアルト考ヘマスガ、其點ニ付テ御考慮ニナシテ居ル點ガアレ

バ承リタイト思ヒマス

○熊谷委員 只今橫山君ノ御問ハ洵ニ御尤ノ御質問ダ

ト私ハ考ヘマス、成程私立大學ノ諸君ニ對シテモ、恩典ヲ與

ヘルノガ相當デアアルカモ知レヌノデアリマスガ、提案者ガ茲ニ

私立大學ヲ除外シタル所ノ理由ハ實ハ、帝國大學ノ法學

部ノ法律學科ヲ修メタル者ハ、是迄特權ヲ有テ居タノデアリ

マス、特權ヲ有テ居タノデアリマシテ、之ヲ奪フト云フコト

ハ、僅カニ二十日カ二十五日ノ間ニ於テ奪フト云フコト

ハ、如何ニモ可哀相デアルト云フコトデ、此救済案ヲ出シタ

ノデアリマスカラ、私立大學ノ方ヲ見マスト云フト、私立大

學ノ方ハ或ル特殊ノ權利ヲ與ヘルト云フコトニナル、ヤルト

取ルトノ相違ガアルコトデアリマスカラ、私立ノ學校ハ今迄

持テ居タモノデハナイカラ、其方ニハ我慢シテ戴キタイト云

フ考ラシテ之ヲ除外シタ譯デアリマス

○橫山委員 只今ノ質問ニ對シテ熊谷君ノ御答辯ガアリ

マシタガ、當局ノ御考ハドウデアリマスカ

○馬場政府委員 實ハ此第二項ニ付テハ餘程難問ト考

ヘテ居ルノデアリマス、如何ニモ三月一日カラ高等試驗令

ガ實施セラレレル爲ニ三月ノ月末ニ卒業スル帝國大學ノ法

學部卒業生ガ試驗ヲ更メテ受ケナケレバナラヌト云フコト

トナルノハ、如何ニモ氣ノ毒デアルト云フコトデ、救テヤルト云

フ御同情ニ對シテハ感謝スル所デアリマスガ、其點ハ餘程

困難ナ問題デアリマス、強テ反對致サスト云フコト位デ、之

ヲ樞密院ヲ通サセナケレバナラヌノデアリマスカラ、果シテ斯

ク

ク

ウ云フ案が樞密院ヲ通ルカドウカト云フコトニ付テモ、多大ノ疑ガアルノデアリマス、勿論第一項ニ付テモ、樞密院ヲ通過スルカドウカニ付テノ疑ハアリマス、政府ハ出來ルダケ無論本案が兩院ヲ通過シタ上ハ、樞密院ニ對シテ適當ナ説明ヲスル積リデアリマス、第二項ニ付テハ餘程困難デアルト云フコトハ覺悟シナケレバナラヌト思ヒマス、私共個人トシテハ洵ニ氣ノ毒ノヤウナ氣モシマス、併シ折角ノ御提案デアリマス、強テ反對致サヌト云フコト位ニ御承知ヲ願ヒタイノデアリマス

○横山委員 尙ホ根本ニ溯リテ、疑ノアル所ヲ詳シク御聴シタイト思ヒマス、單リ本員ノ疑デアルノミナラズ、多數ノ關係者ノ立場ニ對シテ同情ノ餘リ一應ノ質問ヲ試ミタイノデアリマス、ソレハ今回ノ辯護士試験ニ關シテ、殆ド八百人ノ及第者ヲ出シタ、是ハ吾々ト致シマシテハ、試験ノ方法或ハ試験委員ノ主義ノ、何レニ在リタカト云フ事柄ハ勿論宛知ルコトガ出來マセヌガ、斯ノ如キ多數ノ者ヲ登第セシメタル事柄デアルト考ヘルノデアリマス、唯、受験者ノ側カラ洵ニ結構ナ事デアルガ、ソレガ一面非常ニ禍ヲ爲シテ居ルノデアリマス、今回ノ受験者ガ斯ウ澤山登第シタノハ、詰リ一種ノ救済手段、言葉ヲ換ヘテ申スナラバ、御情ケニ依テ多少通過セシムルニ困難ナ事情アル者ヲ通過セシメタノデアリマス、斯ウ云フ一般ノ風評アルガ爲ニ、登第者ハ折角登第ノ名譽ヲ荷タニ拘ラズ、一面ニハ品質ノ一段低下シタ者デアルト云フヤウナ一般ノ疑ヲ受ケテ居ル、洵ニ是ハ救済デアツカ、純然タル登第デアツカト云フコトハ、姑ク別ノ問題トシテ、此點ハ多數登第シタ人々ノ一般ノ名譽ノ爲メニ、甚ダ遺憾ニ思フデ居リマス、成程從來ノ例カラ申シマス、百名トカ百五十名ト云フ限度ニ限ラレタガ、ソレガ一躍シテ七百名八百名ト云フ多數ニナリテ居リマス、當局ノ苦心ノ存スル所モ私ハ存ジテ居リマス、ケレドモ、受験者ノ學問ノ程度が一躍シテ左様ニ躍進スル譯モナシ、又從來ノ受験者ノ登第者ガ少イカラト云フデ、素質ガ惡カッタト云フ斷言ヲ下スコトガ出來ナイ、唯、茲ニ殘デ居ルノハ、折角登第シテモ、是ハ救済ノ意味デ、御情ケヲ通過シタノデアルト云フ風評ヲ受ケルニ至リテハ、折角登第シタル人ノ爲ニ甚ダ遺憾ニ思ヒマス、又當局ノ態度ニ對シテモ、餘リ無責任デアルト云フ非難ヲスル者モアルヤウニ承デ居リマス、是ハ官民共ニ迷惑ヲ感ズル點デアリマス、此點ニ於テ私ハ、試験委員ノ側ニ於テモ、公平ナル試験ヲ致シタノデアル、又登第シタル側ニ於テモ、何モ出來ナイ者ヲ、無理ニ御情ケニ依テ登第シタノデナイト云フコトノ聲明ヲ得タイト思ヒマス、此點ニ關シテ當局デ考

慮セラレテ居ル點ガアルナラバ、折角澤山登第セラレタ側ニ於テモ満足ヲ致シマス、此一般ノ風評ノ寃ヲ雪グノ御言葉ガアレバ、此場合合テ置キタイ

○山内政府委員 世ノ中ニサウ云フ疑ガアルカドウカハ承知シマセヌガ、最初ニ試験ノ筆記試験ガ終リテ、其日ニ試験場ノ外ニ於テモ餘程大勢集リテ運動シ、ソレカラ約千人許リノ受験者ガ司法省ニ來タノデアリマス、サウシテ私ニ會ウテ陳情スルコトガアルト云フコトデアリマス、其中ノ二三十人ガ來タト考ヘテ居リマス、併シ正式ノ代表者トシテ十人許リデ宜カラウト云フヲデアリマス、二三十人來タノデアリマス、其際ニ二ツノ陳情ヲシタ、一ツハ救済シテ呉レ、今回ノ試験ガ最終デアルカラ救済シテ呉レト云フコトデ、一ツハ試験制度ノ延期問題デアリマス、其際私ハ救済トハドウ云フ意味カ、救済ト云フコトハ決シテスベキモノデナイト云フコトハ、言ヒ換ヘレバ資格ナキ者ニ資格ヲ與ヘ、格ナキ者ヲ及第サセ、所謂御情ケノ及第ト云フモノハ、スベキモノデナイトソレハ君等ガサウ云フコトヲ言フト、若シ及第シタ時ニ御情ケデアツタト云フテ後悔スルコトニナルカラ、決シテ御情ケハヤラナイ、唯、諸君ノ努力、最終ノ試験ニドノ位努力シタカト云フ結果ハ或ハ現レカモ知レナイ、救済ト云フコトハ諸君口ニスルコトヲ止メヨ、ソレカラ當局ニ於テモ救済スル意思ハ毛頭ナイ、此事ヲ言明シテ置イタ、ソコデ試験ノ結果非常ニ多數ガ多イカラ、私モ試験委員長ニ會フデドウ云フ事情カラ聽イタ所ガ、矢張何等手心ヲ加ヘタノデナイ、新シク大分出タ人モ居ルシ、試験ヲ受ケタ者ノ數モ多イ、ソレカラ持テ來ルト僅カナ者デアリマス、要スルニ努力ノ結果、受験者ノ多數ト云フ關係カラ成績ガ好カツタモノト考ヘマス、出シタ答案ヲ見テ、決シテ落第スベキ者ヲ及第シタト云フコトハ無イノミナラズ、マダ少シ中々力ノアル者ガアツタ、併シ試験問題ノ答案トシテハ、ドウモ及第サスコトガ出來ナイカラ落第シタ者モアル、及第見込ノアル者ガ全部及第シテ居ラナイト云フコトデアリマス、決シテ御情ケデ及第シタ者ハ毛頭ナイト云フコトヲ茲ニ言明シテ置キマス

筆記試験ガ通りマシタナラバ、永久ニ認メテ貫ヒタイト云フ希望ナノデアリマス、高等試験令ニ於テハ多少此點ニ付テ明文モアルヤウデアリマス、高等試験令ノ方ニ手ヲ加ヘルト云フ事柄ハ困難ナリト致シマシテモ、此法案ニ依テ救済セントスル第一條ノ受験者ニ對シテ、少クモ五年間此勅令ニ依テ其資格ヲ保持スルコト云フコトニナレバ、其間ダケモ筆記試験ノ效力ト云フモノヲ認メラレト云フ事柄ハ、困難ナ事情デアルノデアリマス、苟モ一度通過シタナラバ、ソレヲ長ク認メテモ差支ナイコト、思料スルノデアリマス、此筆記試験ノ效力ヲ認メラレナイト云フ事柄ハ、一方試験ヲ受ケル者ノ側ニ利益ノ利益ト云フコトガアル、試験ト云フモノハ僥倖ノモノデアルト云フコトノ疑ヲ招キ、昨年ハ筆記試験ニ登第シタガ、今年ハ登第シナイ、又翌年ハ筆記試験ニ通過スルコト云フコトガ屢ニ是迄アリマス、一果シテ試験ハ公平ニ行ハレテ居ルノデアアルカドウデアるか、一種ノ賭博デモスルヤウナ考ヲ世間ノ者ガ持ツト云フコトハ、甚ダ面白クナイ、一般ノ制度トシマシテモ、醫師ノ試験ノ方ニ前期試験ノ效力ヲ認メタルコト云フヤウナ例モアルノデアリマス、此點ニ關シテ如何ナル御考ヲ御持チデアリマス、御説明ヲ願ヒマス

○馬場政府委員 高等試験ニ於テ筆記試験ノ效力ハ翌年ダケ保留シテアリマス、政府ノ考ヘテ居ル所ハ、横山君ト少シ異ニテ居ルノデアリマス、元來法律經濟ニ關シタ試験ハ、醫者ノ試験トハ餘程違ヒマシテ、醫者ノ試験ノ前期後期ト云フノハ、學術試験ト實地試験ト云フノデアリマス、併シ法律經濟ニ關スル試験ハ、筆記試験ト口述トノ間ニ、學術ト實地ト云フヤウナ區別ガアルノデモ何デモナイ、合セテ一ツノ試験デアリマス、ソレヲ筆記ト口述トノ間ニ分ケテ效力ヲ保留スルコト云フコトハ、私ノ考ヘル所デハ元々考ガ違デ居ハシナイカト思フ、併ナガラ高等試験令ニ翌年ダケ保留シテ居ルコトモ、本來ナラバ翌年マデ保留スルノモ寧ロ違デ居ハシナイカト思フ、理窟カラ言ヘバ——其年一度口述ト落第シタ者ガ、ソレヲ筆記試験デ及第シテ居ルト云フコトハ、何カ或ル力ガアルト云フ斯ウ云フ意味デハナイ、醫師ノ試験ナラバ學術ニ合格シテ居ル、唯、口述ノ試験ガ受ケラレヌカラト云フノ離シタ、是ハ高等試験ト云フモノヲ今ノ試験以上ニ擴張スルコト云フコトハ、此勅令ニ依テ定ムル試験ニハムツカシイト思ヒマス、此點ハ御意見ト殘念ナガラ相違シテ居ルノデ、御希望ニ副フ譯ニハ行カヌト思ヒマス

○横山委員 私ハ是デ質問ヲ止メマス、一言吾々ノ考ヘテ居ル事柄ヲ申上ゲテ、又私ノ希望トシテ、當局ノ考慮ニ訴ヘテ置キタイト考ヘルノデアリマス、此試験制度ガ果シテ人材登庸ノ唯一ノ途デアルカドウカト云フコトハ、是ハ餘程攻究スベキ問題デアルト考ヘル、併ナガラ今日ノ學制、今日ノ

文化ノ程度甚ダ不完全ナリト雖モ、所謂試験ト云フモノニ依テ、人材ヲ發見スルヨリ外ニ途ハ無イト考ヘテ居リマス、併ナガラ採用ノ唯一ノ方法デハナイ、試験ヲ通過シナクレバ人材ニ非ズ、試験ヲ通過スレバ人材ナリト云フ結論ハ、論理ノ上カラ申シテモ甚ダムヅカシイ論定デアル、併シ今日ハ已ムヲ得マセヌ、ソレデ試験制度ハ吾々モ之ヲ肯定スルノデアリマスガ、併シ今日ノ法制一般ニ涉テ見マスニ、我ハ新大學今ニ致シマシテモ、高等學校今ニ致シマシテモソレカラ之ニ關聯スル高等試験令ノ内容ニ於キマシテモ、詳シイ事ヲ申ス必要ハ無論ナイノデアリマスガ、要スルニ高等ノ學問ヲ受ケルト云フコトニ依テ、始めテ試験ヲ受ケルコトガ出來ル、試験ヲ受ケルコトニ依テ始めテ人材タルコトヲ認メラレテ、國家ノ官吏トナルコトガ出來ル、文武官トナルノ權能ハ、憲法ノ保障シテアル重大ナル臣民ノ權利デアル、此重大ナル臣民ノ權利ト云フモノハ、貧富貴賤ノ別ニ依テ等差ヲ設クベキモノデハナイノデアリマス、所謂機會均等ノ主義ニ依テ、如何ナル貧民ノ子弟ト雖モ、又貴族ノ子弟ト雖モ、一樣ニ憲法法律ノ上ニ同等ノ資格ヲ持テ、同等ナル機會ニ依テ、此憲法上ノ臣民ノ權利ヲ主張スルコトカ出來ルト云フコトニ依テ、法治國ノ法治國タル所以デアル、又憲法政治ノ憲法政治タル所以デアルト考ヘテ居ル、所ガ今日ノ大學令其他高等學校令ノ内容ヲ仔細ニ點檢致シマスルト云フト、全體ノ事柄ヲ申スノデアリマセヌカガ、ドウモ此中產階級以下ノ者ガ此重大ナル法規ノ惠澤ニ浴シテサウシテ此試験ヲ受ケル門前ニ行クコトノ機會ガ非常ニ乏シクナッテ居ル、スト致シマシテモ、憲法ニ依テ保障セラレテ居ル臣民ノ權利ヲ主張スルニ付テ、試験ヲ爲ス門前ニ行クコトニ非常ナル權差別的待遇ヲ與ヘルト云フコトニナルノデアリマス、是ハ憲法ノ上カラ申シマシテモ、今日ノ思想ノ上カラ申シマシテモ、吾々ハ大ニ憂慮スベキ事デアルト思ヒマス、當局ハ今日ノ大學令或ハ高等試験令ナルモノヲ、完全無缺ナモノト考ヘテ居ルカ知ラヌガ、吾々ノ見ル所デハ甚ダ遺憾ガ多イノデアリマス、此故ニ判檢事デアルトカ、外交官デアルトカ、特殊ノ官吏ニ就テ特殊ノ要件ヲ認ムルコトハ已ムヲ得ヌモノデアリマスガ、少クトモ民間ノ人民ノ依託ニ依リ法律事務ヲ扱フ辯護士、民間ニ居テ人権擁護ノ職責ヲ持ツベキ辯護士ニ對シテハ、成ベク寛大ナル取扱振リヲ致シマシテ、サウシテ最モ平等ニ此試験ノ門前ニ來テ、同一ノ機會ニ浴スルコトガ出來テ、サウシテ人材ガ遺憾ナク人権擁護ノ天職ヲ盡クスト云フヤウニナルコトヲ吾々ハ希望スルノデアリマス、吾々ノ見ル所ヲ以テスレバ、今日民間ニ辯護士ト云フ階級ガ認メラレマシテ、或ル一部ノ人ハ、財力ノ點ニ於テモ智識ノ點ニ於テモ特

殊ノ階級ガ居テ、特殊ノ取扱ヲ受ケテ居リマス、併ナガラ此辯護士ト云フ間ガ、今日ノ人民ノ思想ニ問ウテ、而シテ維持シテ行クコトガ出來ルカ漸々國民ノ知識、殊ニ法律知識ガ進ンデ參リマスルナラバ、此辯護士閣ト云フモノモ早晚非常ナル變遷ヲ爲シ、或ハ閣ト云フモノハ維持シテ行クコトガ出來ヌコトニナルガラウト考ヘル、ソコニ行ク事柄ガ文化ノ極致デアルノデアリマス、此議ニ問ウテ見テ、ドウモ此法律規則ト云フモノニ依テ、官吏ト云ハズ或ハ辯護士ト云ハズ、人材登庸ノ途ガ私ハ狭イト思フ、色々ナ制限ヲ設ケラレテ居ル所カラ甚ダ窮屈デアルト思フ、本案提出ノ理由モ、提案者説明ノ通り洵ニ公明正大ナル御意見デアリマス、速ニ本院ヲ通過シ、又當局ノ努力ニ依リマシテ、一日モ速ニ之ガ現行法トナッテサウシテ關係者ヲ此惠澤ニ一日モ早く浴セシメタイト云フ希望デアルト同時ニ、一般ノ大學ナリ試験規則ニ付テモ多大ナル考慮ヲ煩シタイト云フコトヲ一言述ベテ、此案ニ賛成スルコトヲ一言致シテ置キマス

○黒住委員長代理 他ニ質問ハアリマセヌカ——質問終了ト認メマス、本案ニ對シテ反對若クハ修正ノ意見ヲ御持シタル人ハアリマセヌカ——無シト認メマス、ソレデハ此程度ニシテ是ハ止メマス、ソレデハ本案ハ是デ止メマシテ、更ニ御諮リ致シマスガ、本委員會ニ對シ審議付託ニナッテ居リマス行政裁判法中改正法律案及訴願法中改正法律案、此委員會ヲ開キタイト思ヒマスガ如何デアリマスカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○黒住委員長代理 ソレデハ二案ヲ付議スルコトニ致シマス

○宮古啓三郎君 私ハ委員デハナイノデスガ、此場合發言ヲ御許可ヲ願ヒマス

○黒住委員長代理 宜シウゴザイマス、許可致シマス

○宮古啓三郎君 行政裁判法中改正法律案提案ノ趣旨ハ、本會議ニ於キマシテ大體辯明ヲ致シタル所デアリマス、要スル所今日ノ場合ニ於キマシテハ、列記主義ヲ採ッテ居ルノデアリマスガ、如何ニモ範圍ガ狭イノデアリマシテ、是デハイカヌ、行政裁判所ノ權限ヲ擴張シナケレバナラヌト云フ議論ハ、殆ド何人モ異論ノ無イ所デアラウト思フノデアリマス、唯、今日ノ問題ト致シマシテハ、本案ノ如ク一般ニ法律勅令ニ依ッテ出訴ヲ許スト云フコトニナッテ居ルモノ、外、總テテ出訴スルコトヲ許スカ否ヤ、即チ行政官廳ノ違法處分ニ依ッテ、權利ヲ毀損セラレタル所ノモノニ對シマシテ、一般ニ出訴ヲ許スカドウカト云フノガ問題デアラウト思フノデアリマス、其點ニ付テ本會議ノ際ニ於キマシテハ一應申上ラゲテ置イタルデスガ私共ノ意見ト致シマシテハ、列記ト云フ

コトハ如何ニモ困難デアル、有ユル場合ニ書列ネット云フコトハ容易ナ事業デハナイノデ、ソコデ憲法ノ第六十一條ノ趣意カラ解釋シテ見マスト云フト、ドウモ是ハ一般ニ許スト云フノガ憲法ノ精神ニ適ッテ居ル事デアル、又立憲政治ノ性質ノ上カラ申シマシテモ、行政官廳ノ違法處分ニ依ッテ權利ヲ毀損セラレタ者ノ是ハ救済ノ途デアリマスカラ、是ハ如何ナル場合ニ於テモサウ云フ事ガアリマシタナラバ、救済ヲサレルト云フノガ相當デアラウト考ヘルノデアリマス、ソレデアリマスカラシテ、列記主義ヲ採ルヨリハ、本案ノ如クニ一部ハ列記主義ニナリマス、今日マデノ法律勅令ニ在リマシタモノニ對シテハ列記主義ニナリマスガ、其以外ニ對シテハ概括主義ニナリマス、斯様ナ風ニ規定スルノガ相當デアラウト云フ考デ、本案ノ如キ案ヲ提出シタ次第デアリマス、ソレカラ又訴願法中改正法律案、此方ハ大體是モ本會議ノ際ニ提案ノ趣意ヲ申上ゲテアルノデアリマス、行政裁判所ノ改正ヲスルニ付キマシテハ、矢張訴願法ヲ改正シナケレバナラス、御承知ノ通り行政裁判法ノ第十七條ニハ「行政訴訟ハ法律勅令ニ特別ノ規程アルモノヲ除ク外地方上級行政廳ニ訴願ス其ノ判決ヲ經タル後ニ非ザレバ之ヲ提起スルコトヲ得ス」斯様ニナッテ居ルノデアリマスカラ、或ル特別ノ場合ヲ除クノ外ハ、地方行政廳ニ訴願シテ、其訴願ヲ容レナケレバ行政裁判所ニ訴フルコトガ出来ヌトナッテ居リマスカラ、矢張訴願法ヲ改正シナケレバナラス必然ノ結果ヲ生ズルノデアリマス、ソコデ申スマデモナク訴願ト云フ性質トシテ、行政廳ノ違法處分バカリデナイ、不當處分ニ對シマシテ訴願ノ出來ルト云フコトハ勿論ノ事デアリマスガ、本案ニ於テ之ヲ不當處分ト致シマセヌデ「違法處分ニ依リ」ト云フコトニ書キマシタノハ、此法律勅令デ既ニ訴願ヲ許シテ居ルモノハ、是ハ不當處分デ宜シイ、其他ノ分ニ付キマシテハ、不當處分ト云フマデ訴願ヲサセルト云フコトニナリマスト云フト、餘程訴願ガ多クナル結果ニナリマスシ、又行政裁判所ニ出訴ヲスルノ一階級トシテ、本案ノ改正ヲシヤウト云フノデアリマスカラ、不當處分トマデシナイデモ、行政官廳ノ違法處分ニ依ッテ權利ヲ毀損サレタ者ダケニ止メテモ宜カラウト云フ考ト、ソレカラ又訴願法ニ依リマシテモ、行政官廳ノ違法處分ニ依ッテ權利ヲ毀損サレタ所ノ者ニ救済ヲ與ヘヤウト云フ、二ツノ理由カラシテ本案ノ如ク致シタイト云フノデ、此提案ヲ致シタ次第デアリマス、何卒御審議ヲ願ヒマス

○横山(勝)委員 此案自體ニ對シテハ彼此質問モ何モアリマセヌ、無論贊成デアリマスガ、此場合當局ノ意見ヲ質シテ置キタイト思ヒマス、吾々ハ今日ノ程度ニマデ法律制度ガ進ンデ參リ、又文化ノ程度ノ進デ參リマシタ以上ハ、行政裁判所ト云フモノヲ存置スルノ理由ハ無イト思ヒマス、行政裁

判所ハ之ヲ廢止シテモ今日ニ於テハ何等支障ヲ感ジナイ、御承知ノ通り今日ノ制度ノ上カラ攻究致シマス、本來行政裁判所ノ管轄ニ屬スベキモノニシテ、司法裁判所ニ於テ審判シテ居ルモノガ澤山アリマス、即チ選舉ニ關スル訴訟ノ如キ、或ハ土地收用法ニ依ル補償金額ノ問題ノ如キ、或ハ特許法ニ關スル問題ノ如キ、漸次司法裁判所ノ管轄ニ付セラレマシテ、司法裁判所ノ事務ノ内容ノ中ニ一、本質カラ云ヘバ行政裁判所ニ屬スベキモノデアリト拘ラズ、之ヲ司法裁判所ニ移サレテ、アルト云フ傾向デアリマス、今回ノ裁判制度ハ憲法ノ保障ニ依テ獨立致シテ居ルト云フコトデアリマス、勿論行政權及立法權ハ獨立シテ特殊ノ地位ヲ持テ居ルデアリマス、私ハ司法裁判所ノ裁判ノ内容ニ關シテモ、又形式ニ關シテモ、今日何等不安ヲ感ジテ居ラナイ、隨テ今日ノ所謂行政事件ナルモノハ、之ヲ司法裁判所ニ移シテ之ヲ審判セシムルト雖モ何等不都合ヲ感ジナイと思フ、國家事務ノ統一ノ上カラ申シマシテモ、私ハ無論行政裁判所ト云フモノヲ廢シテ、根本カラ制度ノ立前ヲ變ヘルト云フコトニナレバ、宮古君ノ提案ノ如キモノハ必要ナ事ニナルデアリマス、ソレカラ第二點トシテ行政裁判所ニハ審判制度ヲ認メタリト云フコトヲ、多年吾々ハ言フコトデアリマス、司法裁判所ニ於テハ、免二角不完全ナラハ三級制度ニ依テ審理サレテ居ル、然ルニ行政裁判所ガハ一審限リデアリマス、其裁判ガ善クテモ、惡クテモ、人民ハ必ズ之ニ服シナクバナラヌコトニナテ居リマス、是ハ行政裁判所ト云フモノヲ存置スルトシテモ、此制度ニハ一大變革ヲ與ヘル必要ガアルト考ヘテ居リマス、此兩點ニ對スル御意見ヲ承リタイ

持テ居ルデアリマス、其場合ニ於テハ今提案ノ如キ問題モ、横山君ノ御話ノヤウナ問題モ、當然含マレテ攻究セラルルト思フノデス、故ニ本案ニ對シテ直ニ贊否ヲ政府ハ申スノハ、今日ハ控ヘタイデアリマス

○横山委員 サウスルト行政裁判法ヲ廢止スルト云フ根本ノ問題ニ關シテハ、寧ロ反對ノ御意見ノヤウニ承テ宜シウゴザイマス

○馬場政府委員 其通りデアリマス

案ガナクシテ居ルデアリマス、今日ニ於テ至急ニ御提案ガアルナラバ、最モ結構デアルト私共モ考ヘテ居ルデアリマス、ソレカラ法制度審議會ハ司法大臣ノ管轄ニナテ居リハシマセヌカ、內閣總理大臣ノ方デナクナテ居リハシマヌカ、ソレハ司法大臣ノ方デヤ、テ居ラヌデモ構ハナイ、今法制局長官ガ其點ニ付テ確タルコトヲ御話ガ出來マセウカ

○宮古啓三郎君 其通りデアリマス、私カラモ一言發言ヲ御許シテ願ヒマス、行政裁判所ノ改正案ト云フコトニ付テハ、即チ今迄隨分長イ沿革ヲ持テ居ルデアラフ、本會議デモ申シマシテ通り、第四議會ノ時ニ貴族院ニ於テ、松岡康毅君ガ有ユル有志ノ賛成ヲ以テ、私ノ此度ノ案ト殆ト同ジヤウナモノヲ提出シテ居リ、其時ニ於テハ議了スルニ至ラナカッタ、其次ノ第十三議會ノ時ニ於テ、衆議院ニ於キマシテ利光鶴松君外八名カラ矢張本案ト同意シテ提出シタ、其案ハ衆議院デハ殆ト全會一致通過致シマシテ貴族院ニ行キマシテ、貴族院ニ於テ問題トナリマシタノハ、矢張只今ノ概括主義デ行クカ、列記主義デ行クカト云フ譯デアラフデアリマス、貴族院ノ方デハ概括主義デナク、列記主義ニシタ方ガ宜カラウト云フヤウナ意見ガ多數デアッタヤウデアリマス、其當時ノ政府ノ方デハ、更ニ政府カラシテ提案スル積リデアルト云フコトヲ申サレテ、次ノ議會ニハ提案スル積リデアルト云フコトヲ附加ヘテ申サレテアッタデアリマス、然ル所其次ノ議會ニ政府カラ提案ニナリマセヌデ、第十六議會ノ時ニ列記主義ノ提案ガ出タデアリマス、其當時ハ遂ニ成立ニ至ラズシテ了ッタデアリマス、爾來今日迄一向何ノ提案モナクテ居ルデアリマス、ソレデアルカラ今日迄二十年ト云フ懸案デアリマシテ、政府ニ於テモ提案スルト云フコトヲ言テ居ルノデス、今以テ提案ニナテ居ラヌデアリマス、ソコデ私ハ政府ニ一ツ伺テ置キタイと思ヒマス、ハ、私共ノ希望シマス、今ノ行政裁判所ノ權限ノ擴張、ソレカラ提案ニハナテ居リマセヌガ、矢張大ニ希望スルト云フコトハ是迄度々議會ニ出テ居リマス、行政裁判所ニ覆審部ヲ設ケタイト云フ提案、之ニ對シマシテ政府ニ於テハ、大體ニ於テ御異議ガナイモノデアルヤ否ヤト云フコト、ソレカラ法制審議會ニ掛ケルコトニスルカモ知レヌト云フコトデアリマシタガ、之ヲモウ少シハッキリ臨時法制審議會ニ掛ケテサウシテ次ノ議會ニ政府カラ提案スルトコトニスル申サレルカ、或ハ他ノ調查會デモ設ケテ、次ノ議會ニハ提案スルト云フコトヲ申サレルカ、モウ少シ具體的ニ伺テ置キタイノデス、其沿革ハ先刻來申シマシタ通り、政府カラ提案スルトコトニナテ居ラヌハ最早二十年モ前ノ事デアリマシテ、今以テ提

○馬場政府委員 極メテ簡單ニ政府ノ意見ヲ申上ゲテ置キマス、行政裁判所ノ權限ノ擴張ト云フコトニ付テハ、政府ハ異議ノ無イ所デアリマス、唯、其權限ヲ擴張スルニ付テ、本案ノ如クニ所謂總括主義ト云ヒマス、一々事件ヲ列記シナイ主義ヲ採ルガ宜イカ、或ハ列舉主義ヲ採ルガ宜イカト云フ點ハ一ノ問題デアリマシテ、大ニ攻究ヲ要スルコトト思フデアリマス、又只今横山君ノ御話ノ、行政裁判法ハ唯、一審デゾノヲ、更ニ覆審主義ヲ執レ、上告審ヲ執レト云フコトニ付テハ、是モ大ニ考慮ノ上、相當實行スベキ問題デアリマシテ、民事訴訟法ヲ勝手ニ準用スルト云フヤウナ嫌ガアル位デアル、就キマシテハ政府ニ於テハ是等諸問題ヲ十分ニ研究致ス爲ニ、或ハ場合ニ依リマシタナラバ、臨時法制審議會ノ如キモノニ諮問ヲ致シマス、若クハ他ノ委員會ナリヲ組織シマシテ、出來ルダケ十分ニ是等ノ問題ノ攻究ヲ遂ゲテ、適當ナル成案ヲ成ベク早ク議會ヘ出シタイト云フ考ヲ

○馬場政府委員 ソコ迄ハ確言致シマセヌガ、出來ルダケサ云フ運ビニ致シタイト云フコトヲ申シテ置キマス

○黒住委員長代理 今日ハ此程度ニ於テ止メマス、散會

午後零時四十一分散會